

わだこ ～和風をつくろう!～

用意するもの

道具

- ボンド
- カラーペン
- えんぴつ
- はさみ
- 針金
- 穴の空いた板(5円玉で代用可)
- 紙の3分の1の棒、25cmの棒(定規で代用可)

材料

- 紙(47cm×32cm) 1枚 ※A3より一回り大きいくらいのサイズ。
- たこ糸(一ひろ) 3本 ※一ひろ・・・約150cm
- 新聞紙 1枚(足用)
- 竹ひご 3種類4本(赤34cm×1本、青49cm×1本、黄色59cm×2本)
- たこ揚げ用巻糸 1個

行程

- ①絵を描く
- ②骨を作る
- ③足を作る
- ④糸を張る
- ⑤足をつける

手順

①絵を描く

- 飛ばしたときに見えるように、しっかりめに描く

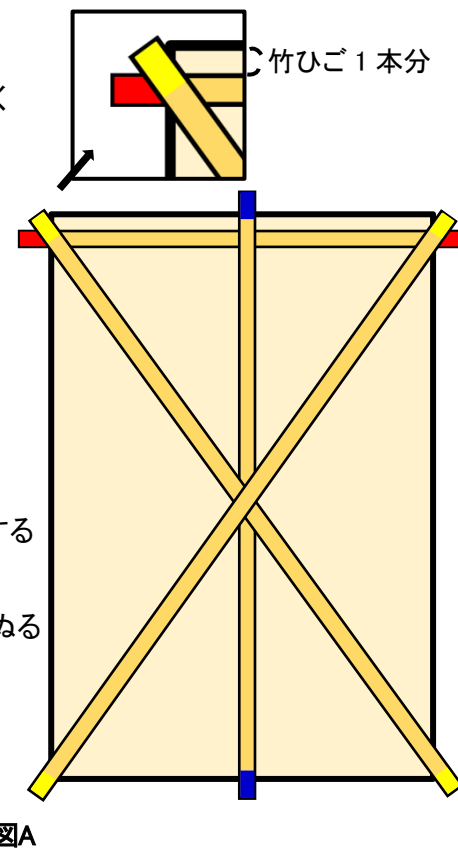
②骨を作る (図A)

- 描いた絵の裏側に骨を貼る
- 紙にたて半分の折り目をつける
- 竹ひごを
横(赤)、たて(青)、ななめ(黄色)の順に貼る

<ポイント>

- ◇ 竹ひごの、紙からはみ出る幅は左右均等にする
- ◇ ボンドのつけすぎに注意
- ◇ 竹ひご同士が重なる部分はしっかりボンドをぬる

～乾燥させる～

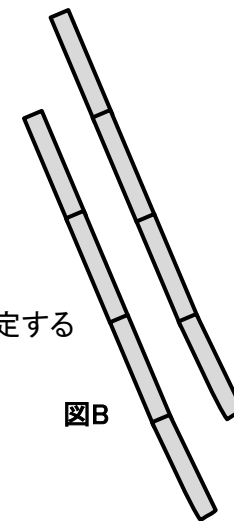


③足を作る (図B)

- 新聞紙を広げて折る
- 折り目で切って細長い紙を8本作る
- 4本つなげたものを2つ作る

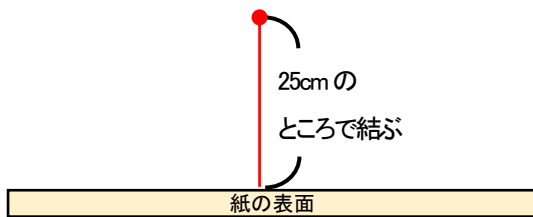
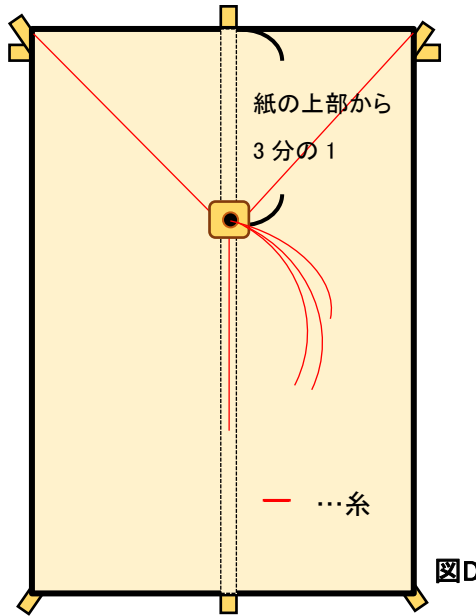
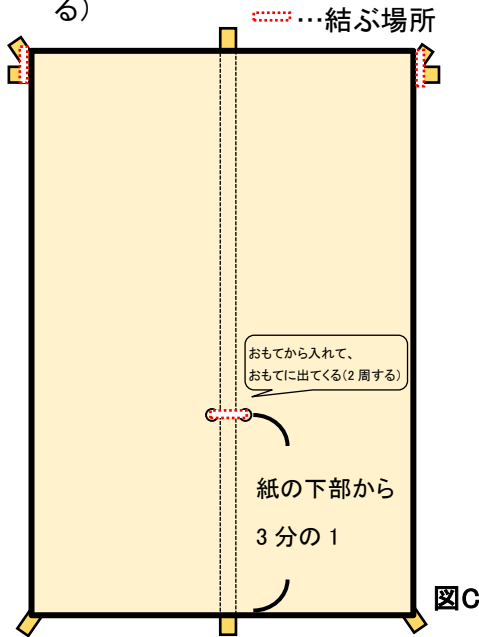
<ポイント>

- ◇ たこのたての長さの3倍以上にすることで、飛ばしたときに安定する



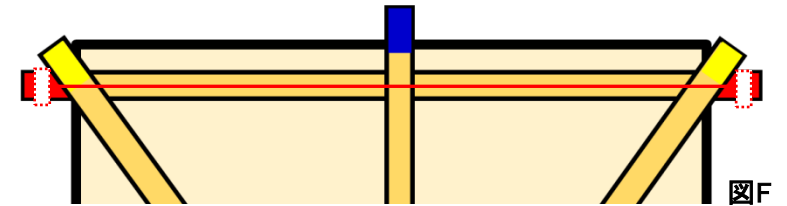
④糸を張る（おもて）

- 横とななめの竹ひごに糸を結ぶ(図 C の.....の部分)
- 紙の下から 3 分の 1 のところに糸を結ぶ(図 C)
たての竹ひごに 2 周巻き付けるようにし、表で結ぶ
- 3 本の糸を穴の空いた板に通す(図 D)
- 板を紙の上におろす
- 紙の表面(板の穴から)高さ 25cm のところで、3 本一緒に結びぶ(図 E)
- 一番長い糸 1 本を残して、2 本切る(A)
- 残った 1 本の先のにぎりこぶしが入る程度の輪を作る(巻糸をつなぐ部分になる)



図E 横から見た図

- たこを、骨を作った方に裏返す
- (A)で切って余った糸を 1 本、横に貼った(赤)竹ひごの両端に結ぶ(図 F)



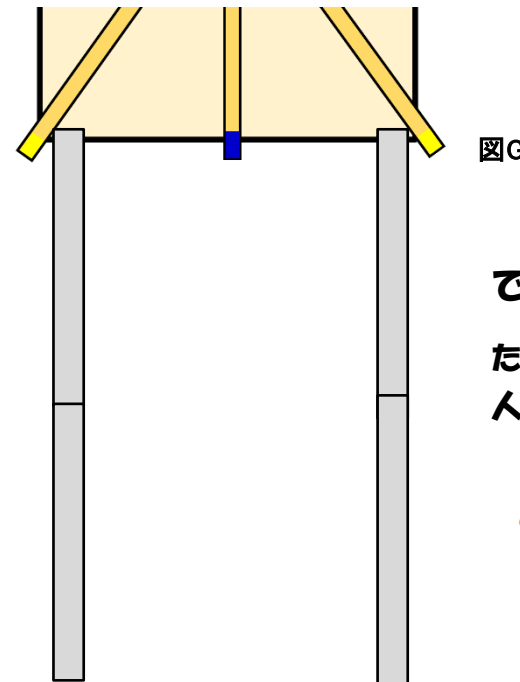
<ポイント>

◇ たこを揚げる際の風の強さで、横糸の“張りの強さ”を変える

- 風が強いとき…強く張る
→たこの上部をたゆませ、横とななめの竹ひごに横糸を 1~2 回巻く
- 風が弱いとき…弱く張る
→たこの上部をたゆませ、横とななめの竹ひごから巻いた糸を外す

⑤足をつける

“②”で作った足をたこ本体の右下と左下につける(図 G)



できあがり☆

たこあげをするときは、まわりの人や車によく気を付けましょう!

